

婦人会館だより

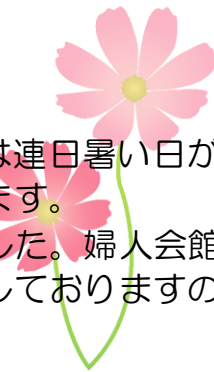
第16号 2012年8月23日

発行者 財団法人みやぎ婦人会館
理事長 三浦 絢子
仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
TEL 022-299-4530

24年度事業実施中！！

〈一日研修〉

今年度も早5ヶ月が過ぎようとしています。婦人会及び団体の皆様には連日暑い日が続く中、一日研修に参加申し込みいただきました。真に有り難うございます。研修内容は体を動かす実技や、これからの人生についての講話と様々でした。婦人会館では今年度より通年で実施し、2回目、3回目のご利用の場合は、割引しておりますので、是非足をお運びいただきますようお願いいたします。



〈子育て広場 “まってるよ”〉

7月5日の“まってるよ”では、七夕飾りを作りました。わっこの会の皆さんがかわいい飾りをたくさん作ってきて下さり、短冊に願いを書いてとても華やかな七夕飾りができあがりしました。次回は9月20日（木）、パネルシアターの予定です。



〈楽しいお洒落講座〉



今年度から始まったこの講座も第1・2回目は好評のうちに終了。ちふれ化粧品さんに協力していただき、「中高年のためのお化粧品教室」を行いました。いくつになっても“美肌”“若く見える”というキーワードには敏感に反応してしまいます。いつもよりたっぷりコットンに化粧水を含ませ、数分、顔に貼り付けただけで、心なしかモチリとした質感に！ちょっとした手間の大切さを実感したひと時でした。

★親子旅《凧製作と凧揚げ》参加者募集★

秋の親子旅物語では、10月21日（日）、仙台凧の会のご協力のもと泉岳少年自然の家にて『凧製作と凧揚げ』を開催します。

自分だけのオリジナル凧を作って、泉岳で空高く揚げてみませんか？

材料と道具は全て凧の会で準備をしてくれます。

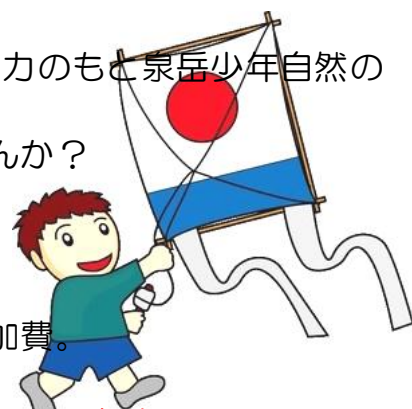
体験先：泉岳少年自然の家（婦人会館のバス使用）

参加費：親子一組 1000円（保険料等）

凧の製作は子供のみです。子供二人目は300円の参加費。

ただし、200円追加で大人も製作できます。

申込締切：10月14日（日） お問い合わせお待ちしております！！



周先生のワンフレーズ・チャイニーズ! No.2

すみません トイレはどこにありますか？
不好意思 能告诉我厕所在哪儿吗？
Bù hǎo yì si Néng gào su wǒ cè suǒ zài nǎ 'er ma
ブ-ハオ イ-ス ナン ガオ ス ウォ- ツォスウオ ザイ ナル マ



行ってきました！



〈竹馬の友大学〉

第3回は、丸森町の齋理屋敷と阿武隈川遊覧に行ってきました。お天気も良く暑い一日でしたが阿武隈川の船上が心地よい風が吹いてとても気持ち良かったです。



阿武隈川では四季折々の風景が楽しめるので、違う季節にまた計画したいと思います。

第4回は、「登米の歴史を辿る旅」と題して、登米市出身の石ノ森章太郎ふるさと記念館と興福寺、弥勒寺、不老仙館を訪れました。石ノ森章太郎ふるさと記念館では、貴重な資料やイラストがたくさん展示されており、懐かしいキャラクター達に会えてワクワクしました。興福寺では、寺の歴史と建造物の説明をいただき、観音堂の「二十四孝物語」の壁画も色鮮やかですばらしかったです。お寺の拝観は、階段や坂道を徒歩で登らなければいけなかったため、今後の反省点としたいと思います。

〈みやぎの食探訪〉

7月26日、蔵王へブルーベリー摘みに行ってきました。約30名が参加し、いざ蔵王へ出発！久しぶりに会う人も多いのか、バスの中ではワイワイと話が尽きず終始賑やかです。数十種類のブルーベリーが育てられている農園に着き、思い思いの場所で摘み取り開始！初めは「甘～い、これ酸っぱい！！」と吟味しながら摘んでいたものの途中でそんな事では時間がかかると、片手でごっそり摘むワザを習得。気が付いたらカゴいっぱい！摘んだブルーベリーをどう味わおうかという楽しみを思い描きつつ、ブルーベリー＝何となくお洒落な果物よねと感じることで、さわやかな汗をかいた1日でした。



夏休み企画 《親子旅》

第1弾では角田宇宙センターで水ロケットを作成してきました。宇宙センターに入るなり、入り口には年代毎のJAXAのロケット



に、子供も大人も興奮していました。ロケット製作では、それぞれ好きな色のテープ・用紙でロケットの外観を作成し翼と頭を丁寧にくっつけて完成。発射台にロケットを並べて一斉に発射！しました。ロケットの中に入れる水の量で飛ぶ距離も変わり、みんな思ったより遠くへ飛んだのでびっくりしました。



第2弾では大郷町開発センターで特産のモロヘイヤでうどん作り



を体験しました。ポソポソなのにこねていくほどモチモチしていく粉に子供たちは一生懸命こねて完成しました。切るのも子供が切ったので太さもまちまちでしたが、「おいしくなあれ」と願いながら作ったうどんは格別の味でした！

